

第5回大阪市中学校給食検討会議要旨

1 日 時：10月24日（金）14：30～17：00

2 場 所：大阪市役所3階 教育委員室

3 出席委員：

藤原 政嘉	大阪青山大学健康科学部教授
浅香 策雄	大手前栄養学院管理栄養学科教授
滋野 由紀子	大阪市立大学経済学部准教授
平井 さより	大阪市PTA協議会代表
三木 あゆみ	同
玉井 得雄	教育次長
沼守 誠也	指導部長
荻野 哲男	教務部長

4 会議次第

開会

議事

議案・報告

- (1) 12校における昼食提供事業アンケート結果分析について
- (2) 食生活等に関するアンケート結果分析について
- (3) 他都市（千葉県松戸市・千葉市）の中学校給食実施状況視察結果及び視察6都市のまとめについて

5 議事等要旨

議案・報告

- (1) 12校における昼食提供事業アンケート結果分析について

前回の会議で報告した昼食提供事業に関する12校アンケート調査結果報告に基づき、アンケート調査における業者弁当の利用状況、食味、分量、業者弁当の良い点、改善を求める点、利用しない理由などの回答に対する考察を説明。また、給食の廃止に伴う校内状況等の変化、昼食提供事業の実施状況や課題等を検証するため、本年7月から8月に実施した12中学校長ヒアリングの内容を報告。加えて事業改善のための業者へのヒアリング内容もあわせて報告。

分析のまとめとしては、学校給食から家庭弁当持参に切り替えた12校については、一定、家庭弁当を持参する習慣が定着しており、弁当持参の意義や必要性を感じている家庭もある。昼食提供事業については、利用率が減少傾向にはあるが、家庭弁当を持参しない生徒は業者弁当を利用している者がほとんどであることから、一定の役割を果たしているものと考え。浮かび上がってきた課題に対しては改善に努める旨、深見学校保健担当課長代理より説明。

- (2) 食生活等に関するアンケート結果分析について

食生活、食習慣、中学生の昼食の実態、中学校の昼食に関する意識、中学校給食に対する意向についてのアンケート調査結果（単純集計・速報値）に対する考察を説明。

朝食の喫食頻度や、主食・主菜・副菜をバランスよく食べているかどうか、といったところや日頃の食生活の状況について、小学生と比較しながら考察するとともに、「食」に関する知識を教えたりする「食育」の実践にあたり、回答者が「学校の役割」であるとしたものについて考察。次に、中学生に食べさせたいものとして、回答者が「給食」や「弁当」を選ぶ割合を考察。さらに、家庭弁当や学校給食の「良い点」や「課題」として回答者が挙げるものや、学校給食の実施を希望する者と希望しない者の割合とそれぞれが理由として挙げるもの等を考察。

また、アンケート調査結果を詳細に分析するためのクロス集計としては、「朝食の喫食日数」と「家庭弁当の持参率」との関係や、市民の年齢別に「給食を希望する」割合、「家庭弁当を食べさせたいと考える市民・保護者」のうち「弁当作りに負担感を感じている者」の割合、「家庭弁当を食べさせたい」と考えながらも「給食実施を希望する」者の割合について集計した。さらに、「全員喫食」か「選択制給食」について、給食実施を「希望する者」と「希望しない者」ごとにその割合を集計した。その他、課題として給食費の滞納問題を挙げる者の割合などの集計結果について、藤巻学校保健担当課長から説明。

(3) 他都市（千葉県松戸市・千葉市）の中学校給食実施状況視察結果及び視察6都市のまとめについて

千葉県松戸市へは、事務局より松戸市立第六中学校を視察し、自校調理方式・選択制給食による給食実施状況について、ランチルームの整備状況、配膳状況、生徒の喫食状況等を視察したこと及びその模様の概要を報告。千葉市については事務局より千葉市立葛城中学校を視察し、給食センター方式による給食実施状況、配膳状況、生徒の喫食状況を視察したこと及びその模様を報告するとともに、大宮学校給食センターでの衛生管理体制を聴取したことを報告。

続いて、これまでに実施した6都市への視察のまとめについて、深見学校保健担当課長代理より説明。

6 閉会